第1号様式② (第8

### できるだけ「手書き」は避け、 パソコン等で作成したものをご提出ください。

m	777	$\Box$
ш	<del></del>	

# きらめき活動助成事業助成金交付申請書 【課題解決支援「はな」プログラム】

令和 7 年 2 月 20日

公益財団法人山口きらめき財団

理事長 様

所在地 〒753-0000

○○市××町 89-12

団体名 山口きらめきグループ

代表者職氏名 代表 岡山 花子

きらめき活動助成事業助成金の交付を受けたいので、きらめき活動助成事業助成金交付要綱第8条の規定に基づき、下記のとおり申請します。 助成を申請する事業の名称を記入。

記

助成を申請する事業の名称を記入。 「(別紙2)事業計画書」の、「申請する事業 の名称」と同一にしてください。

	1 申 請 す る 事業の名称	古民家「えんがわ」地域にぎわいづくり							事業
	2 助成金申請額	277,000				全て揃っているかを確認後、 ○をつけてください。足りな い資料は作成してください。			
		(1)					[ (	]	
	3 添 付 書 類	(2) 事業計画書 (別紙2)						[ (	]
		(3)事業収支予算書(別紙3)					[ (	]	
	※ 揃っているか確認し、[]に○を付け		(4) 令和7年度の団体全体の収支予算書 ※(3)とは別に団体独自で作成している書類						
の標	■で3回以上の交付が ■で3回以上の交付が	(5) 会員・役員名簿(現在のもの)					[ (	]	
った	場合は、今回申請する	(6) 組織の運営に関する規則等 (定款・規約・会則等)					[ (	]	
とができません。 (7)			(7) そ♥他申請に必要なもの				[ (	]	
	4 過去5年間の	年 度	令和2年度	令和3年度	1	令和4年度	令和5年度	令和(	6年度
	当財団からの 助成金交付状況	交付額	250,000	(	0	300,000	0		0

※既に当財団から3回以上助成金の交付があった場合には、今回申請できません。

<申請事業に関する他機関・団体への補助金・助成金の申請状況>							日中に問合せをすること			
機関	<b>!</b>	団(	本名	3 公益財団法人○○財団 2			公益財団法	がありますので、連絡がと れる携帯番号やメールア		
肋成事業名・金組				▽×助成金 (令和7年3	ドレスを必ず記入してく ださい。					
<b>ノ市が担い力すると、</b> ツョール いまめいてしっただされ##Fist 。							* 連絡は主にメールで行   います。 メールのチェック			
住	生 所 〒 753-0000 ○○市※×町 I 2-34						は細目に行うようにして ください。			
職	氏	名	役職(	事務局長	氏名(	島根	<b>治郎</b>	)		
Т	Е	٦	090-3	90-3456-○○×× FAX 083-90			0- \( \nabla \times \times \)			
メール	メールアドレス kiramekikai@amail ××									

# 団 体 概 要 書

ふ	りが	な	やまぐちきらめきぐるーぷ	ふりがな	おかやま はなこ			
団	体	名	山口きらめきグループ	代表者職氏名	役職: 代表 岡山 花子			
団(	本 所 右	E 地	〒753-0000 〇〇市××町 89-12					
設立	5年月	日	2001年5月1日	会員数	37 人 うち 18 歳~30 歳まで 3 人			
	体 Z 趣 i 動 目			活動分野 に ※該当する 活動分野に 全で☑を付	<ul> <li>保健、医療または福祉</li> <li>社会教育</li> <li>まちづくり・中山間地域づくり</li> <li>観光振興</li> <li>学術、文ポーツ</li> <li>環境保全</li> <li>環境客</li> <li>地域獲美</li> <li>地域獲養</li> <li>平和の推進</li> <li>国際交流・国際協力</li> </ul>			
活動地域		域	1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	□ 関係交流・国際協力 □ 男女共同参画 □ 子どもの健全育成 □ 情報化・科学技術 □ 経済活動、職業能力開発 □ その他			
直 前 令 和			○ 古民家「えんがわい拠点づくり事業 これまでの主な活動を箇条書きで分かりやすく記入してください。 団体設立前など、活動がない年度は空欄としてください。 ○ 古 (ただし、設立前であっても同様の活動があった場合には記入してください。)					
年間			子ども食堂(月2回開催)					
の			団体の事業規模(事業費総額)		750,000 円			
主な活動実	<ul> <li>活</li></ul>							
績			子ども食堂(月2回開催)					
	】 7 <sup>4</sup> 動 計		団体の事業規模(事業費総額見込) ○ 古民家「えんがわ」拠点づくり事業壁の塗りなおし(漆喰塗体験) ○ 古民家「えんがわ」を活かしたイベンお花見、クラフトワークショップ、認知子ども食堂(月2回開催)	ント開催	700,000 円			
			○ 学習交流会の開催					

※活動実績、活動計画には、助成事業に申請しようとする事業以外のものも含め、**団体の中心的な活動**を記入してください。活動実績がない場合には空欄としてください。

### 事業の名称 事業 古民家「えんがわ」による地域にぎわいづくり ◆解決したい地域や社会の公益的な課題 地域や社会にあるどのような課題を解決したいかを記入してください。 ※公益性~特定の個人や団体ではなく、不特定多数の利益の増進につながること~が求 解決したい められます。 地域や社会の ◆課題の解決に向けた取組の方向性 公益的な課題 前述の課題を解決するため、助成金を活用してどのような取組を行うのか、大ま かな方向性を記入してください。 上記を踏まえて、令和7年度は助成金を活用してどのような目的で事業に取り組 事業の目的 むかを記入してください。

### 課題解決のために実施する事業の概要

◆事業の実施期間

7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 20 日 令和

- ◆対象者及び参加人数(どのような人達を対象に行うか・どのくらいの人数を集めるか)
- ・地域住民(小さな子どもから高齢者まで)

具体的な対象者(ターゲット)があれば

- ・市民活動団体、自治会、まちづくり協議会、○○市等想定して記入してください。
- ◆実施内容・方法(いつ・どこで・何を・どのような方法で行うかスケジュールも含め具体的に記入)
- ◆古民家拠点づくり

日時:5月、7月、9月、11月、1月、3月の第3土曜日午前中

参加者:会員と地域住民で参加者延1回20人程度 内容:壁の漆喰塗体験、清掃、周辺の草刈、障子貼り

▶交流&学習会「古民家から地域の元気を発信しよう!」の開催

日時:10月▽×日(日)10:00~16:00

内容: ①ピアノ・ヴァイオリン

- ②ワークショップ(本相
- ③活動紹介展示パネ や協力者の声などを
- ④古民家で語ろう!(す が元気な地域をつく
- ⑤プロの演奏家による

場所:古民家「えんがわ」((内容についてはまとめて分かりやすく(例えば箇条書きなどで) 記入してください。

> ※外部の講師を招へいする場合には、その方の経歴や講演いただく 内容、招へいする理由等について別に紹介してください。

※専門用語等には注釈をつけてください。

※これまで同じようなイベント等を実施された場合にはその写真 やパンフレットを資料として提出してください。

#### ◆振り返り会&情報交換会

日時: |2月○○日(○) |0:00~|2:00/|月○○日(○) |3:30~|5:30

場所:古民家「えんがわ」

内容:イベントの参加者やえんがわの利用者、市内外のまちづくり実践家等による一年間

の振り返りや意見交換とこれからの「えんがわ」の進むべき方向を検討

- ◆実施体制及び地域との連携(事業における団体内部の役割分担・地域とどのように連携して実施するか) 〈団体内部の体制〉
- 拠点整備部(5人)、交流&学習会部(6人)の両部会を中心に事業を実施
- 情報は広報部で統括してコンスタントに SNS 等で拡散する

〈連携・協力団体〉※事業を実施する上で協力してもらえる他機関があれば記入

団 体 名	協力内容		
まちづくり団体××グループ	学習&交流会、振り返り会、意見交換会に参加協力		
○▽自治会	広報支援		
○×▽まちづくり協議会	学習&交流会、振り返り会、意見交換会に参加協力		
○×××大学○○研究室	拠点づくりでの協力		
〇〇市	後援		

### 事業を行うことで期待される成果等

- (1) 申請年度で達成したい目標 ※目標に<mark>具体的な数値</mark>があれば記入
- 交流&学習会での発表を通して、地域資源の再発見やまちの魅力の発信につなげていきたいと考えているため、この会の参加者を○○人目標としたい。また、その後の振り返り会の参加者は○○人を目標とする。
- 拠点づくりの協力者の人数を述べ○○人としたい。
- 学習会では事後にアンケートを行い、今後地域活動に興味を持った、もしくは会の活動 に参加してみたい人を○○人以上設定する。
- (2) 事業を実施することで地域や社会の公益的な課題の解決にどのくらいつながるか

事業を行うことによって、どのような成果を地域や社会に残せるか、どのような良い変化があるか、波及効果があるか等を記入してください。(現時点での見込みで結構です。)

今後の展望 | ※助成事業終了後の活動の展開など、今後の予定を記入

実施した事業の成果やノウハウ等を活かして、本事業を今後どのよう に展開していくかを記入してください。

数年間の活動計画がある場合には今後の計画を記入してください。

(別紙3)

# 事 業 収 支 予 算 書

## (1) 収入

(単位:円)

科目	予 算 額	内 訳			
17 🗆	1)异 俄	内 容	積算根拠		
①当財団助成金	277,000 円	きらめき活動助 <sub>月</sub> (B× <b>2/3</b> )※千月			
②他機関・団体からの補助金・助成金	250,000 円	=	公益財団法人○○財団(10万) - 算方法 ×財団(15万)		
③寄付金・協賛金	円	416,0	第7万 00 円×2/3 , <del>333.333</del> …		
④広告料	円	l '	未満は切捨)		
⑤自己負担金	38,000 円	会費	@1,000 円×38人		
⑥その他	円				
⑦入場料等収入	11,000 円	交流会参加費	大人@500 円×50 人 ※子どもは無料		
⑧プログラム売上等収入	円				
収入合計 (A)	576,000 H				

# (2)支 出

<b>1</b> 41 🗆	7 # #F	内 訳			
科 目 	予 算 額	内容	積 算 根 拠		
⑨謝 金	60,000 円	交流学習会出演 者用謝金	講演 20,000 円 (@10,000×2人) ピアノ・ヴァイオリン 40,000 円 (2 万×2 人)		
⑩旅 費	37,000 円	講演講師用 ピアノ・ヴァイオリン演奏家	5,000円(2,500×2人) 32,000円(広島市⇔山口市/自家用車2 台往復)260 km×30円×2台 高速料金@8,000円×2台		
⑪消耗品費	50,000 円	事務用品(用紙等) 小 ント用具(清掃)	10,000円、(インクカートリッジ) 20,000円 10,000円(消毒液等) 10,000円(清掃)		
⑫印刷費・ 広告宣伝費	150,000 円	チラシ印刷 ポスター印刷 パネル印刷 団体パンフレット印刷 資料コピー代	45,000 円(@15×1,000 枚×3回) 30,000 円(@150×200 枚) 10,000 円(@1,500×6枚程度) 60,000 円(@150×400 枚)※見積添付 5,000 円		
③備品費	30,000 円	電動のこぎり 電動ドライバー	I 備品で購入されるもの 使用   については、見積や写		
<b>④通信運搬費</b>	24,000	パンフレット・イベント チラシ発送	真を添付してくださ い。(ネット見積でも		
⑤会議費	4,000	<b></b>	2, OK です) 2, <sub>000   1</sub> ( @ 000 へ と 入 ) ト お 茶		
⑩使用料・賃借料	31,000 円	プロジェクターレンタル 交流会会場使用料	一式 5,000 円26,000 円助成対象とならない経費については HP 等でご確認く		
⑪設営費・舞台費	7,000 —至	なすること 設置費	一式 7,000 『ださい。		
⑱その他の経費	23,000	振込手数料 小 、	3,000円(@ お電話でのご相談も承ります。		
助成対象となる支出計®	<mark>416,000</mark> 円		<b>*</b>		
助成対象外支出計⑥	160,000 円	スタッ7旅費(50,000) 加者への炊き出し食材	、スタッフ昼食代(10,000)、交流会及び拠点づくり参 オ費(100,000)		
支出合計 (®+©)	576,000 <u>H</u>	※収入合計と支出合言	計は一致すること		

### 事業収支予算書を記入する場合の注意事項

\*この表には申請する事業の経費のみを記入してください

### 「①当財団助成金」(助成金申請額) の算出方法

助成対象となる支出計®×助成率 (2/3) ※金額は千円単位とし千円未満は切捨

- 「②他機関・団体からの補助金・助成金」の内訳欄には、当財団以外の交付元団体別に額を 記入してください
- 「⑦入場料等収入」とは、音楽・演劇・ミュージカル等の公演や展覧会・上映会において入場者から徴収する料金や、知識や技能習得のためのセミナー等において、参加者から受け取る参加料をいいます
- 「®プログラム売上等収入」とは、公演や展覧会等でのプログラムや目録等の売上金をいいます
- 「内訳」の「内容」欄には経費の明細項目を、「積算根拠」欄には、具体的な数値(単価× 員数・回数・個数等)を記入してください。5万円以上の物品を購入する場合は、根拠とな る見積書や価格表の写しを添付してください
- 「助成対象となる支出計®」には、助成対象となる経費のみを記入してください
- 「助成対象外支出計©」には、助成事業全体の経費のうち、助成対象とならない経費(家賃や光熱水費等の運営費、食糧費や講師への手土産代、委託費等)を記入してください
- 助成対象とならない経費については、「募集案内」や「申請の手引き」を参照してください

### 【参考】目標数値の例

- イベントや講座、研修会等の参加者数、これまでの参加者数と比較しての増減値
- 交流拠点や施設等の利用者数、これまでの参加者数と比較しての増減値
- 新たな運営スタッフや会員の加入数
- 新たな単発ボランティア数やボランティアの登録者数
- 連携や協力団体・機関の数
- イベントや講座、研修会、定例活動等の実施回数、これまでの実施回数と比較しての増減値
- 行ったイベントに対する理解度や定着度(%) ※アンケート実施による
- 団体の啓発ツール(リーフレット、チラシ、ポスター、会報等)の作成枚数や配布箇所数
- 団体のホームページやSNS、youtube 等の閲覧数や登録者数
- 団体のホームページやSNS、youtube 等の更新回数や動画等の作成回数
- 他の広報機関(市報、TV、新聞、SNS等)での掲載回数
- 団体に関する問合せ回数
- イベントや講座、研修会等に参加した会員・スタッフの習熟度合や経験度合(%) など ※上記は一例です。団体の事業内容やこれまでの実態に合わせた目標値を設定してください。